

# 議員派遣等成果報告書

内容

女性地方議会議員意見交換会

日時 平成30年5月25日

場所 中央合同庁舎2号館会議室

那賀町議会議員 連記 かよ子

平成30年5月25日（金）午後3時から5時まで内閣府において、今般、政治分野への女性の参画拡大、議員なり手不足解消のための方策について、野田男女共同参画担当大臣兼総務大臣との意見交換会があり、北海道から九州までの女性地方議会議員18名が参加し、徳島県から私が参加しました。男女共同参画社会を形成するに当たっては、女性の政策、方針決定過程への参画が促進されることは極めて重大であり、特に女性議員の比率は低く、議員の多様性を確保することが必要であります。

第1部、第2部のプレゼンテーションでは各2名ずつの発表があり、第1部において女性が地方議員に参画する意義として徳島県町村議会女性議員連盟の活動報告を発表させていただきました。

他には島根県日吉津村や東京都多摩市、長野県立科町の女性議員からプレゼンテーションがありました。

女性議員のなり手不足について、やはり過疎町村ほど難しく、多摩市などの新興住宅地などの旧来のしがらみにとらわれない地域のほうが多くの女性議員が立候補しやすくなっていると感じました。

7月には女性有志が窓口となって「女性版ふるさとキャラバン」が開かれることになっており、国会議員の先生方に地方に出向いていただいて、多くの若い女性の声を聞いてほしいということを進言いたしました。

女性議員のなり手不足は多くの要因があります。女性が働きやすい環境を整えていくことがまず先決であると思います。